

民間事業者の海業への取り組み

自己紹介

大塚 英治 オオツカ エイジ

株式会社 キットブルー 代表取締役
北海道小樽市生れ 54歳

株式会社 沿海調査エンジニアリング 代表取締役社長
有限会社 北海屋大塚商店 代表取締役
東海大学 非常勤講師
NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会 理事
一般社団法人 小樽観光協会 理事
泊村観光協会 理事



ライフワークは「海のある豊かなくらし」



幸を、価値に。

KIT BLUE

「地域商社」とは、地域の資源を発掘し、価値を最大化させることを第一のミッションとする。

その上で、地域の多くの関係者を巻き込む求心力を持ち、農産物や加工品などの地域資源をブランド化し、生産・加工から販売まで一貫してプロデュースし、地域内外に販売する組織。

積丹半島からの挑戦 地域商社キットブルー

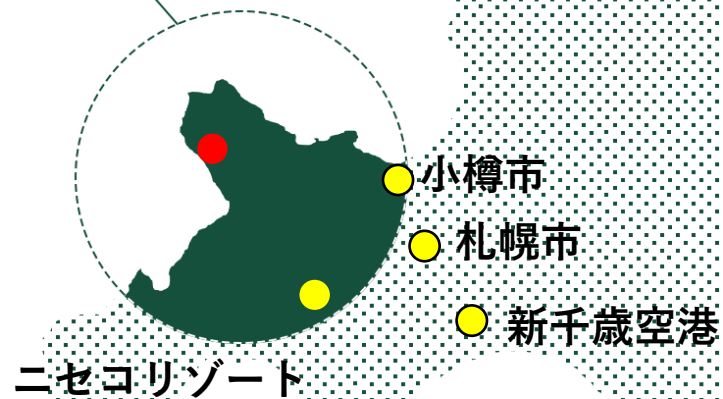
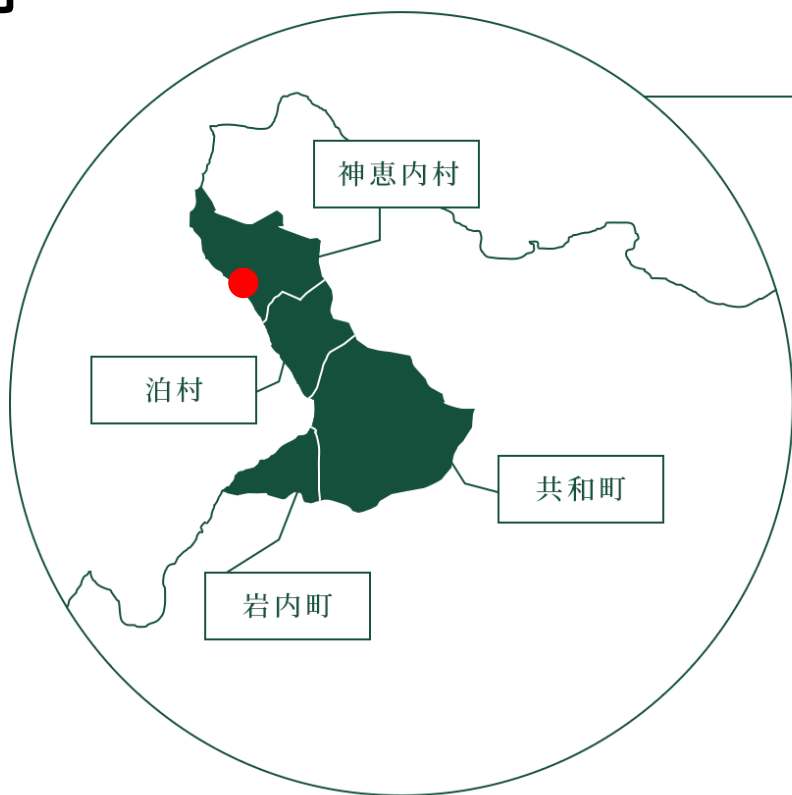
～神恵内村・岩内町・泊村 3つのまちから「売れる」をつくる～



Kamoanei 神恵内村

Iwanai 岩内町

Tomari 泊村



地方創生事業により2017年10月に創業した地域商社・株式会社キットブルー。

「持続可能な漁村まちづくり」をミッションとして、漁業者の所得向上や後継者問題の解決、増養殖事業の確立などに取り組んでいます。新しいかたちで、産地と消費者をつなぎ、特産品である「ナマコ」「ウニ」はもとより、豊かな観光資源も含めて地域の魅力を国内外に発信します。地域資源の発掘を含め、地域のブランド力を磨くことが我々のミッションです。

創業時：Kamoenai Iwanai Tomari 株式会社KITBLUE

代表取締役 池田幸雄（神恵内村副村長）
取締役 岩内町副町長
取締役 泊村副村長
執行役員 大塚英治（（株）沿海調査エンジニアリング代表取締役社長）
監査役 北海道銀行岩内支店長
監査役 北洋銀行岩内中央支店長

設立 2017年10月1日
資本金 1千万円

経営ノウハウや人材の提供（執行役員、社員出向）

株式会社沿海調査エンジニアリング

国（地方創生事業）

← 交付金

古宇郡漁業協同組合 岩内郡漁業協同組合

← 原料供給

北海道銀行 北洋銀行 北海道信用金庫

← 資金供給

協力機関

北海道経済産業局
北海道/北海道立総合研究機構
JETRO日本貿易振興機構
民間企業各社

← 技術協力
販路開拓

地域経済の活性化に向けた仕組みづくり

【神恵内村の新たな地域経済循環の仕組み】

【トレンド】 国際環境の変化、気候変動・自然災害、感染症、人口減少・少子高齢化、海業技術進展（Society5.0）、インフラ等の老朽化、暮らし・働き方等の変化等

【村外】

海外市場

国内市場

企業等

売上 投資

【神恵内村】

基盤産業

水産業・観光業
(新たな産業創出も)

所得

村民

消費

非基盤産業

商業・サービス業
(新たな産業創出も)

所得

税

税

税

公共サービス

- 国内や海外との取引、越境ECの展開。
- 国内外からの投資の呼込
- 技術のパッケージの展開（販売）。



宮比

みやひ

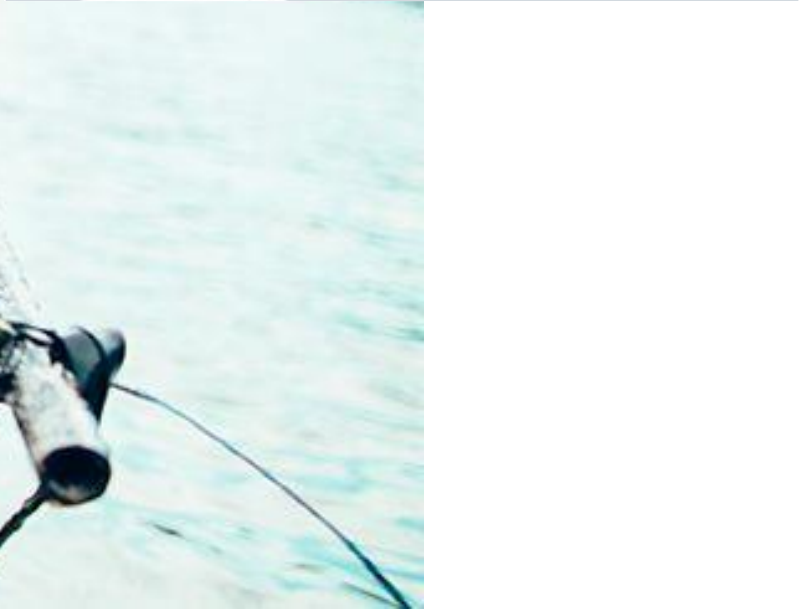
北海道
特産品



北海道産物販売株式会社

宮比

みやひ



地球と人にやさしく
美味しいウニを神恵内から発信

神恵内村の美味しいウニを一年中、食べてもらいたい。そんな思いから、2018年に陸上養殖システムの研究がスタートしました。

地球にやさしい再生可能エネルギーや、デジタル技術を使った養殖って、なんだかカッコイイ。たくさんの技術者が研究に協力するプロジェクトでは、地球環境や先端テクノロジーを学ぶこともできるんです。

「美味しいウニ」で面白い仕事をし、お客様の笑顔をつくる。小さな神恵内村から、見て世界とつながる未来へ。



再生可能エネルギーとハイテク陸上養殖

ワクワク未来MAP



再生可能エネルギー

- 1 洋上風力発電(電気エネルギー)
- 2 陸上風力発電(電気エネルギー)
- 3 太陽光発電(電気エネルギー)
- 4 温泉熱(熱エネルギー)
- 5 地中熱(熱エネルギー)
- 6 停電時の電源(蓄電池)

デジタル技術 ICT・IoT

- 7 陸上養殖の管理アプリ
- 8 養殖でのモニタリング
- 9 水質センサー
- 10 監視カメラ
- 11 エサやりロボ(ロボティクス)
- 12 ウニ割りロボ(ロボティクス)

養殖

- 13 エソバファンウニ
- 14 特殊な飼育水槽
- 15 水循環システム
- 16 エサ(野菜由来)の独自開発

加工・流通・体験学習

- 17 ウニ割り・身の取り出し
- 18 鮮度保持パッケージ
- 19 運ぶ(電気自動車)
- 20 売る(食品舗・インターネット販売)
- 21 食べる(飲食店・おうちごはん)
- 22 学ぶ(ウニ割り体験・環境教育)

※ ICT (アイシーティー) : 情報通信技術。
 ※ IoT (アイオーティー) : インターネットを媒介としたモノとモノとのネットワークによる連携技術。
 ※ 環境負荷低減に配慮した包装資材を使用する予定です。

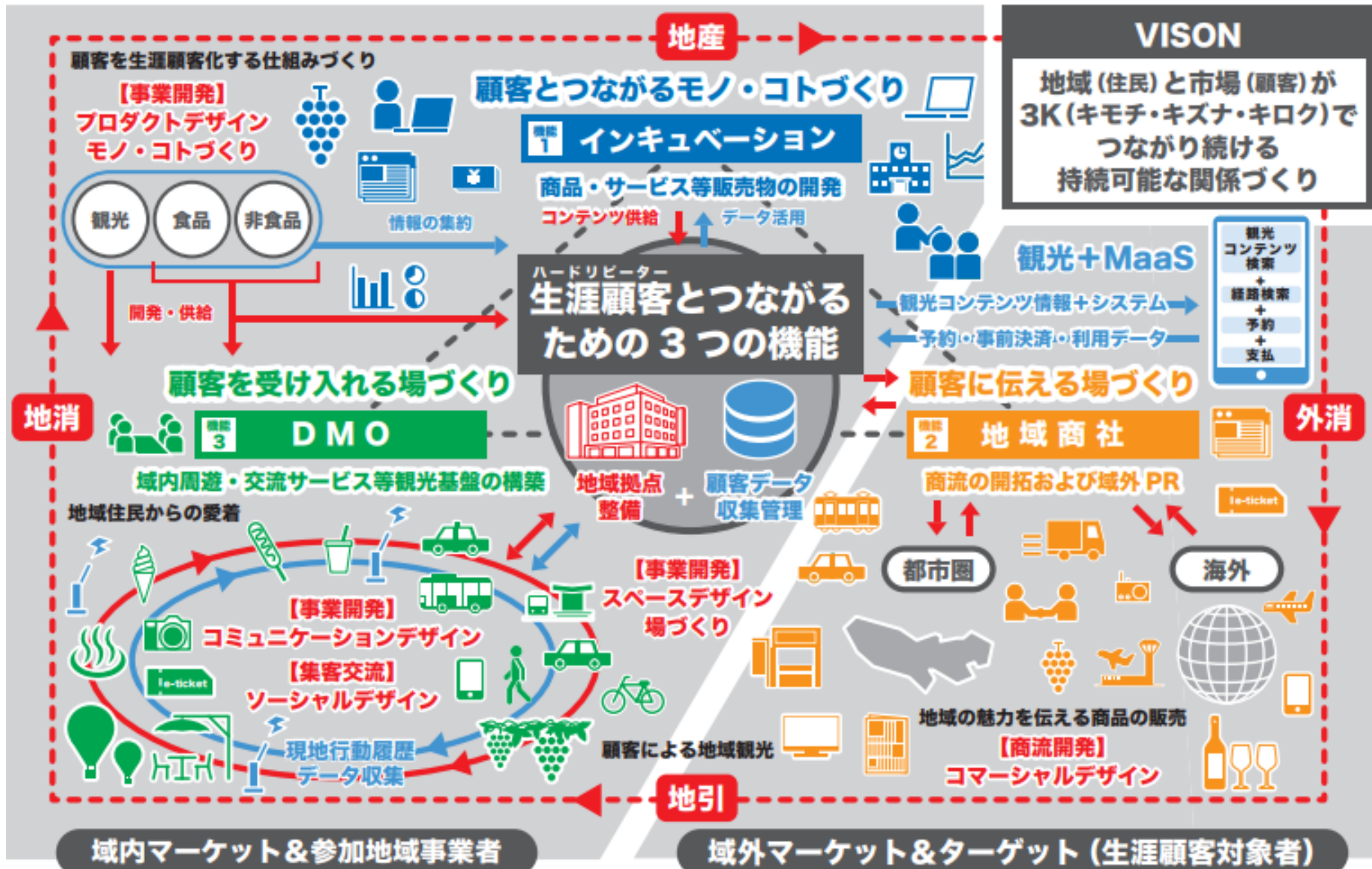
KITBLUE

髙沿海調査エンジニアリング

FUJITSU

Hitz
Hitachi Zosen

Air Liquide





海に学ぶ体験活動協議会
Council for Nature Activity
along the Coast

CNACは、海辺で活動する全国の団体個人が、より多くの皆様に安全に楽しく海辺の活動に参加していただけるよう連携することを目的として**2006年に設立**されました。豊かで美しい海を次世代へ継承し、持続可能な社会を創造していくためには、多くの人々が海辺の自然を楽しみつつ、海への理解を深め、海辺の環境を保全することの大切さを学ぶことが必要です。このため、「**海辺の自然体験活動**」を活性化します。

海辺の自然体験活動を推進する団体および幅広い個人の交流を支援し、海辺の自然体験活動を支える指導者を育成するほか、海辺の自然体験活動を円滑に推進するための調査研究や普及啓発を図り、良好な海辺の環境の保全及び創出に努めます。

海洋基本法（2007年7月20日施行）

【 協 力 】



国土交通省 港湾局

みなとから未来へ

みなと総研

一般財団法人 **みなと総合研究財団**
Waterfront Vitalization and Environment Research Foundation

wave

キケンくんは
どこ?

“あぶない直にあいそうな
キケンくん”をさがそう。

キケンくん
みつけ!



砂浜であそび

ライフセーバーがいる
夏の海水浴場は
海あそびピグナーでも
安心してあそべる場所だ。

なにして あそぼ

海を感じる、波乗りあそび

ボディボードや、ボードを使わない
ボディサーフィンは気分サイコー。

いがいとハマる、砂あそび

バケツで海水をくみ、砂とまぜて
かためると、かたくしまる。
これをけずってゲージュツ作品を
つくろう。砂のサマーベッドも
ためしてみたい。

おくが涼しい、ビーチコーミング

うちあげられた海産物をひろって
コレクション。アートも楽しい。



波にのまれる!

波が大きいときは、“ひき波”に足をとられる。
波にのまれると、中はまるでせんたくきの
中のような。

沖へむかう流れに乗ってしまう!

波となっておしよせた海水は、沖にもどる。
波うちざわでは岸にそって流れ、最後は岸
にむかって川のように流れていく。この“波
のもどり流”に乗るとキケンだ。

風に飛ばれる!

ふと気づいたら遠くに飛ばれていることが
ある。波がなくても、陸から海にむかって
風がふいているときは注意。

低体温症はコワイ

くちびるがむらさき色になり、ふるえがき
たら、海からあがるサインだ。体をふいて
着がえよう。

●風にも注意

ぬれたまま風にあたると、海草と同じくらい
ひえる。ウインドブレーカー、ウールやフリース
の上着をもっていくよう。



もしものときのセルフディフェンス



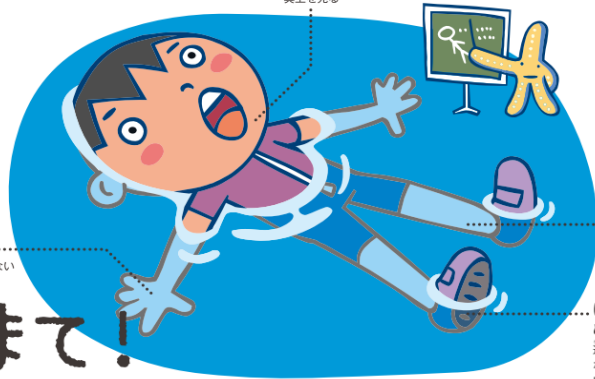
あっ 海に落ちた
どうしよう!
うきあもない!

おぼれたときの基本

「ラッコうき」

背うきのこと、むねをはって
コリあおむけにのっているポーズだ。

あごを上げ
真上を見る



ういて まで!

手は横に広げ
水面上に出さない

足もかるく
のぼす

あてずに
ラッコうき!
うかんで
助けを待とう

ニンゲンうきしずみ学

- 1 人は、ほんの少しく、
でも息をはくと、しむむ。
- 2 手をふって
「助けて〜!」とさけぶと?
体がしむむ。
- 3 どういわけて、ラッコうきで
あてずさわがす助けを待つ?
がいちはん。



うくモノがあれば
もっと楽にうける
ペットボトルは役に立つ。

身につけて
いると
うくモノ



ライフジャケット
(PFDともよぶ)



運動くつや
スポーツサンダル

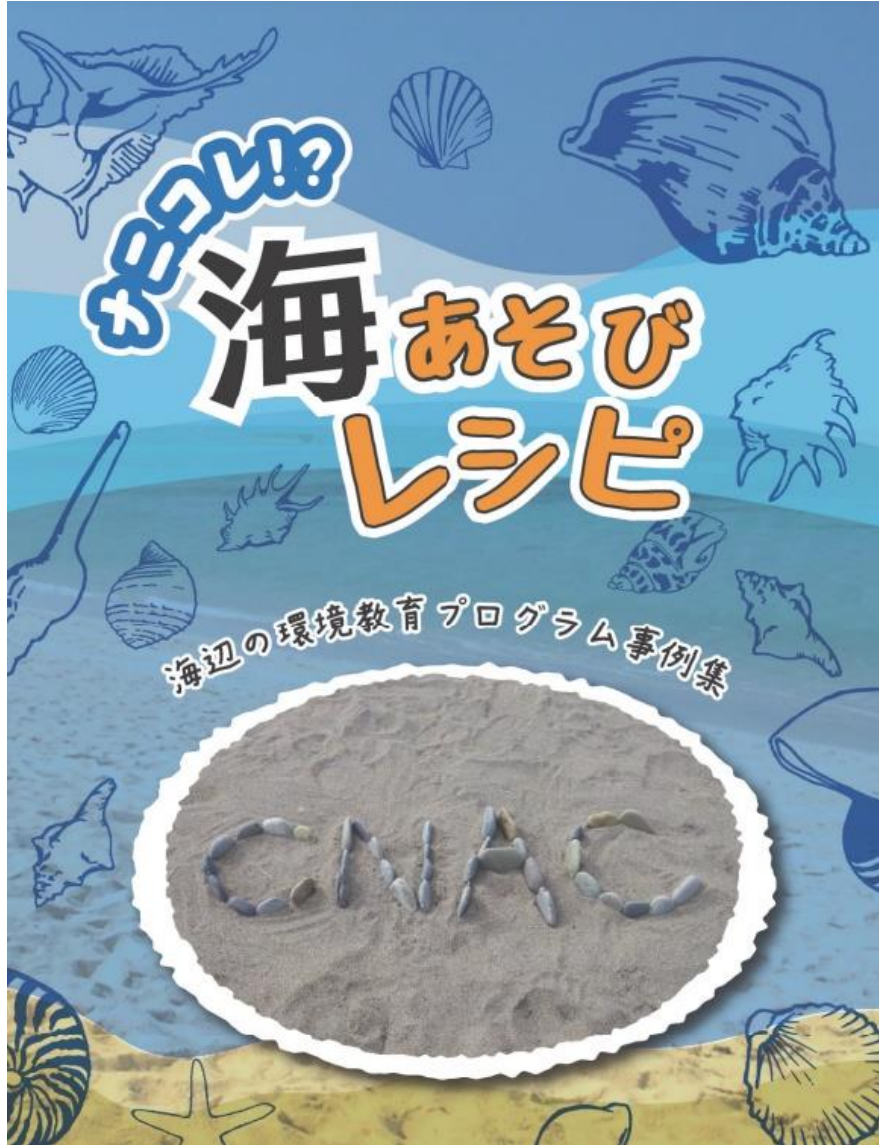


ウエットスーツ

.....はいているくつは
ぬがないで!
運動くつやスポーツサンダル
などのかるいくつをはいて
いると、足がうくよ。



たの 楽しく 安全に 海であそぼう



砂浜クリーン大作戦



砂浜をキレイにして、愛着を育てる。

ビーチを回りながら、ゴミ拾いをします。拾ったゴミは分類し、どんなゴミが多いのか？誰が捨てたのか？活動を通して考えることで身近な環境に関心を持つきっかけにもなります。

対象 幼児～大人
場所 砂浜
時間 3時間

2Q2ラムの前編

1. 用意するもの

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 参加者(人数分) | スタッフ |
| ①ゴミ袋(45ℓ前後)
漂着物の収集用 | ⑥ゴミ調査シート
※コゴポイント参照 |
| ②軍手 | ⑦釣りばかり
ゴミの重量測定用 |
| ③トンブ | ⑧笛や鈴 |
| ④バインダー | 参加者の集合時に使用 |
| ⑤筆記用具 | |

※その他に雨替え・帽子・タオル・日焼け止めなど活動のしやすい服装や道具を用意する。



2. 事前の準備

危険を予測しよう

- 海には危険な物や生物がたくさんあります。現場の状況を把握し、危険を避けましょう。



範囲を決めよう

- 実施範囲の確認は必ず行いましょう。
- 参加者の行動を把握できるように安全管理担当者を置き、参加者が夢中になってはくれないように注意し



2Q2ラムの本編

1. 参加者にルールを伝えよう！(約10分)

参加者がその日挨拶を済ませたら、実施範囲と危険物について共有しましょう。実物や写真を使って危険物を説明すると、参加者にも伝わりやすくなります。



2. クリーン大作戦開始！(約120分)

ゴミ回収の始まりです。参加者が範囲の中で安全に活動できるようにスタッフは危険物に気を配りながら実施してください。安全管理担当者は参加者の行動把握に努めて、はぐれたりする参加者がいないように注意します。終了5分前に予鈴を行うと円滑に集合できます。



3. 拾ったゴミを調査！(約50分)

①ゴミを分類しよう

ゴミ調査シート(下参照)に合わせてゴミを分類し、それぞれの数や重さを測ります。測った結果はメモするほか、参加者全員に共有しやすくするように、砂浜などに書きます。

②結果について話そう

今回の調査結果を共有しながら、話し合しましょう。ゴミはどこから来たか、ゴミが多いと生態にどんな影響があるか等、ゴミを通して多くのことに気付けるはずです。

なお終了後、集めたゴミは分別して処分します。また自然物由来の漂着物に関しては、生物のエキや棲み家になることもありますので、砂浜の隅にまとめて置いておきましょう。



コゴポイント 調査シートを作ろう

拾うものをまとめてやすいようにあらかじめ分類をまとめたワークシートがあると便利です。

ゴミを分別しながら、数や重さを記録していきましょう。定期的に実施する際も、その結果の傾向が確認できるので便利です。

ゴミ調査シート 年 月 日				
◎自然由来のゴミ				
海藻類	貝類	魚の骨	鳥の糞	その他
◎人工物由来のゴミ				
ペットボトル	紙コップ	紙	その他	
その他	その他	その他	その他	その他
その他	その他	その他	その他	その他
その他	その他	その他	その他	その他





浮き具になるペットボトル(など)を溺れている人に投げる練習 「ラッコ浮き」の説明場面↑

2023年度 CNAC 海あそび安全講座 指導者養成セミナー

in 南房総

昨年度、南房総市大房岬自然の家で開催し、ご好評をいただきました「CNAC海あそび安全講座指導者養成セミナー」を本年度も開催する運びとなりました。ぜひこの機会に海に特化した安全管理を身に付けて海のシーズンをお迎えください。

なお、当セミナーは新型コロナウイルス感染予防のガイドラインに沿って実施いたします。また、今後の感染拡大の状況次第でプログラム等変更する可能性がありますので予めご了承ください。

※本事業は、子どもゆめ基金の助成を受けて実施します。本事業において、撮影した写真は当団体の広報及び子どもゆめ基金への報告に使用させていただきます。



Network Institution for Youth Education
国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」



CNAC の HP より開催概要をダウンロードの上、事務局までお申込下さい。

開催日:

2023年6月30日(金)~
7月1日(土)

開催場所: 千葉県南房総市
大房岬自然の家、周辺海岸
<http://taibusu.jp/>

参加費: 7千円 (保険代、宿
泊費、食費、教材費込み) 学
生割引あり

募集締切: 6/21(水)

対象: CNAC海あそび安全講
座の指導者を目指す方
定員: 20名

指導: NPO 法人海に学ぶ体
験活動協議会 (CNAC)

主催:

NPO 法人海に学ぶ
体験活動協議会
(CNAC)

東京都港区虎ノ門 3-1-10
第2虎の門電気ビル 4階
(一財)みなど総合研究財団内
TEL 03-5408-8299
FAX 03-5408-8741



【NPO / 市民団体】

認定NPO法人ふるさと東京を考える実行委員会、マリンオフィス ムーンベイ、野外教育事業所ワンパク大学、NPO法人ガイア自然学校、NPO法人Earth Communication、NPO法人伊勢湾フォーラム、NPO法人海の達人、NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊、NPO法人環境教育技術振興会NPO法人海辺つくり研究会、NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター、NPO法人国際海洋自然観察員協会、NPO法人国際自然大学校、NPO法人青少年体験活動研究所、NPO法人湘南自然学校、NPO法人たてやま・海辺の鑑定団、NPO法人千葉自然学校、NPO法人日本安全潜水教育協会、NPO法人日本ビーチ文化振興協会、NPO法人みなとサポート、NPO法人元気王国、NPO法人新潟みなとクラブ

【社団 / 財団】

(一社) サステナブルデザイン工房、(一財) 沿岸技術研究センター、(一財) 港湾空港総合技術センター、(一財) 日本国際オープンウォータースイミング協会、(一財) みなと総合研究財団、(一社) スピリット・オブ・セイラーズ、(一社) 日本埋立浚渫協会、(一社) 日本海上起重技術協会、(一社) 日本セーフティパドリング協会、(公社) 日本環境教育フォーラム

【営利法人】

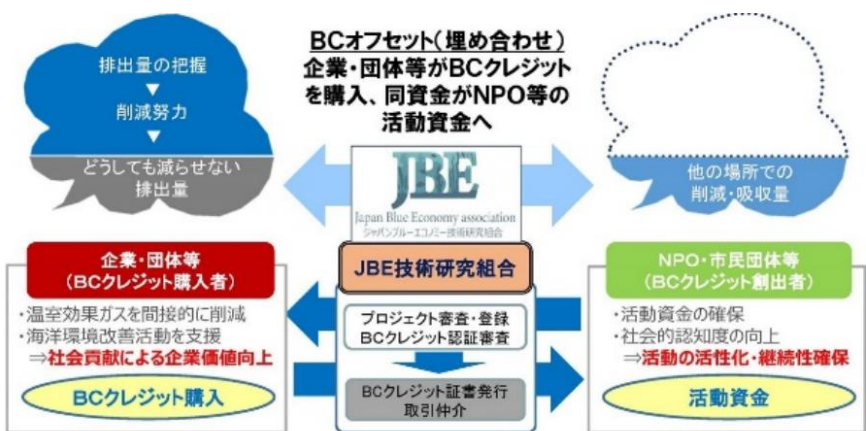
(株) ウェイツ、(株) 自然教育研究センター、(株) 東京久栄、(株) 日本空港コンサルタンツ、(株) 沿海調査エンジニアリング

兵庫運河の事例

明治時代に築かれた日本最大級の「兵庫運河」。やがて利用形態は変遷し、水質悪化により市民からは離れた存在に。

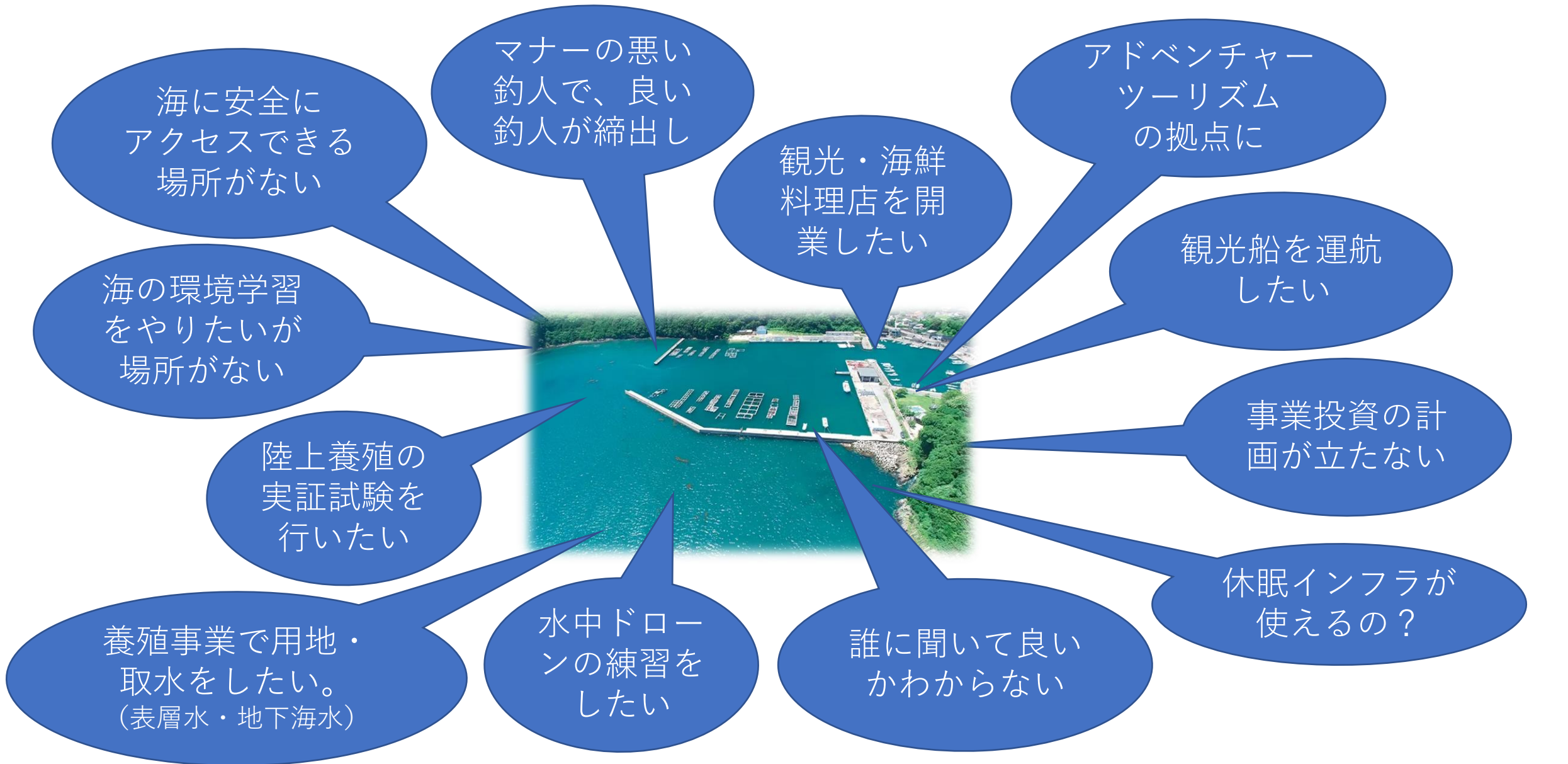


「あつまれ生き物の浜」 (兵庫運河干潟)



自立的・持続可能なブルーエコノミーモデルを構築





そもそも、漁港・漁村との関わり方・コミュニケーション方法がわからない

「海業」への理解促進とコンセンサスをいかに図るか？



地域の子供たちが

「この仕事をしたい！」と思うこと





Thank you for listening.

KITBLUE.inc
Eiji Otsuka